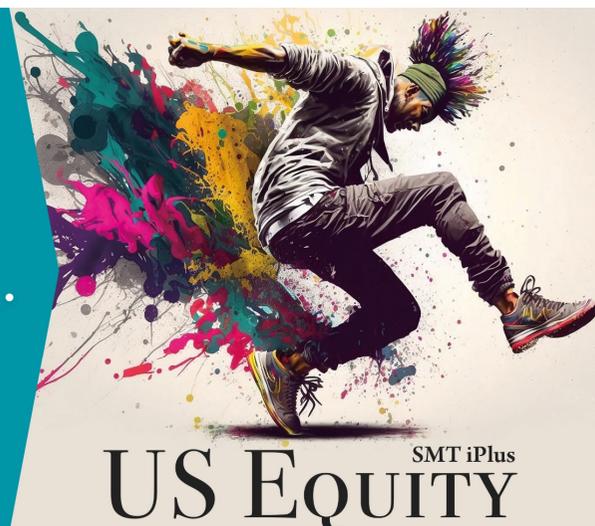




SMT iPlus 米国株式

愛称：つみたてインデックスプラス・アメリカ

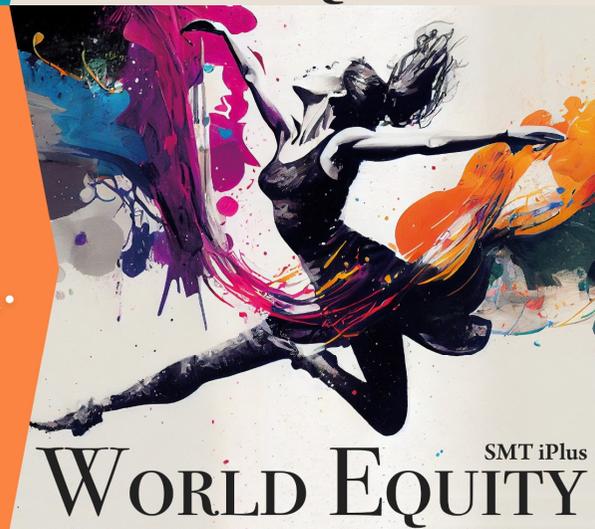
追加型投信／海外／株式



SMT iPlus 全世界株式

愛称：つみたてインデックスプラス・オール・カンントリー

追加型投信／内外／株式



◆投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お申込みは

SBI証券

商号 株式会社SBI証券
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号、商品先物取引業者
 加入協会 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
 一般社団法人日本STO協会、日本商品先物取引協会

◆設定・運用は

三井住友トラスト・アセットマネジメント

商号 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第347号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

今多くの方がお持ちの



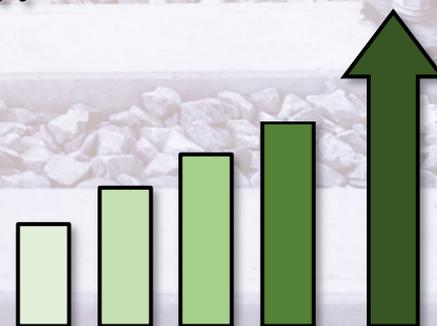
「インデックスファンド」

“もちろんコストは
低く抑えたい”

“でもパフォーマンスも
追求したい”

“とはいえアクティブファンドって

投資初心者にはハードルが高い…” Performance





SMT iPlus シリーズ

三井住友トラスト・アセットマネジメントが
自信を持って提供する

SMT iPlus シリーズ

相対的に「低コスト」
というインデックスファンドの特徴を維持しながら、
アクティブファンドの特徴である
「インデックス+ α のリターン」を追求

大切な資産に、コスパ重視のスマートな選択肢

初めて投資をされる方も、
インデックスファンドなどに投資されている方も

コストでもパフォーマンスでも
魅力的なファンドを目指します

当シリーズ 3つのポイント

1



低水準の基本報酬

ファンドの保有中にかかる固定部分の信託報酬(基本報酬)は、徹底的に低水準に。

2



インデックス+ α のリターン

インデックスファンドを上回る、+ α のリターンが期待できる。

3



実績報酬型

パフォーマンスに応じて、変動部分の信託報酬(実績報酬)を決定。

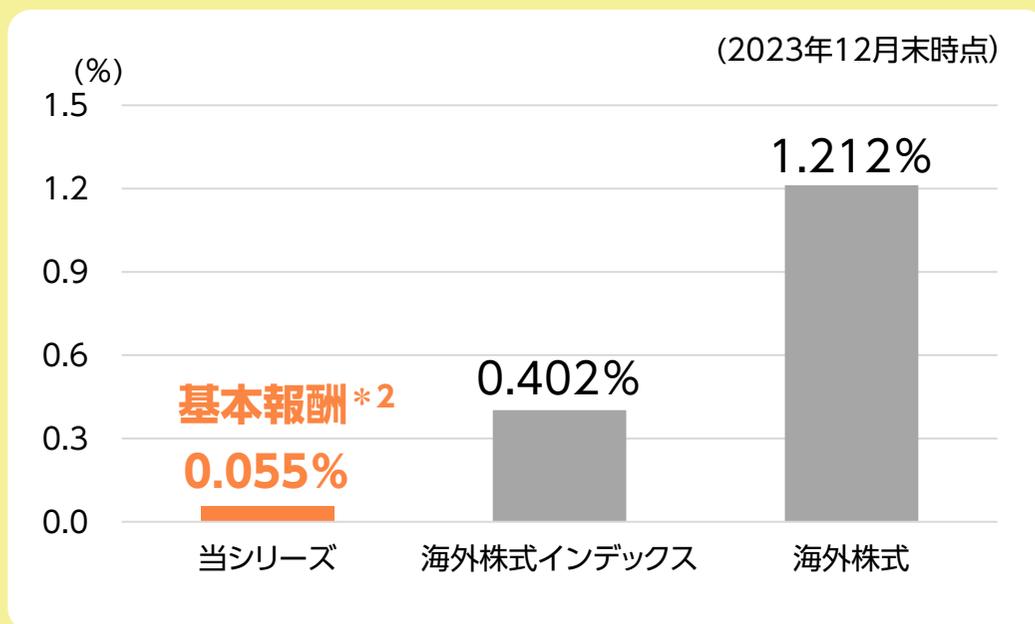
1

低水準の基本報酬



- 当シリーズは、運用管理費用(信託報酬)について基本報酬+パフォーマンスに応じた実績報酬型を導入し、基本報酬は年率0.055%(税込)と低水準を実現。
- 運用管理費用(信託報酬)は、ファンドを保有している期間中、継続的にかかるコストです。長期で考えた場合、このコストが低いファンドを選ぶことは、投資成果の向上に直結します。

運用管理費用(信託報酬)の業界平均*1と当シリーズの基本報酬 (年率、税込)



*1 業界平均は、当資料作成時点で取得できる国内公募投信データにおいてFundmark分類で各資産クラスの抽出を行い、運用管理費用(信託報酬)最高値の平均を基に、消費税を考慮して算出した値です。

*2 基本報酬の他にパフォーマンスに応じて実績報酬がかかります。

※投資信託に係るコストとしては運用管理費用(信託報酬)の他にも、信託財産を通じて間接的にご負担いただく費用・手数料等があります。これら手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

(出所)Fundmarkのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

※上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

2 インデックス+ α の リターン

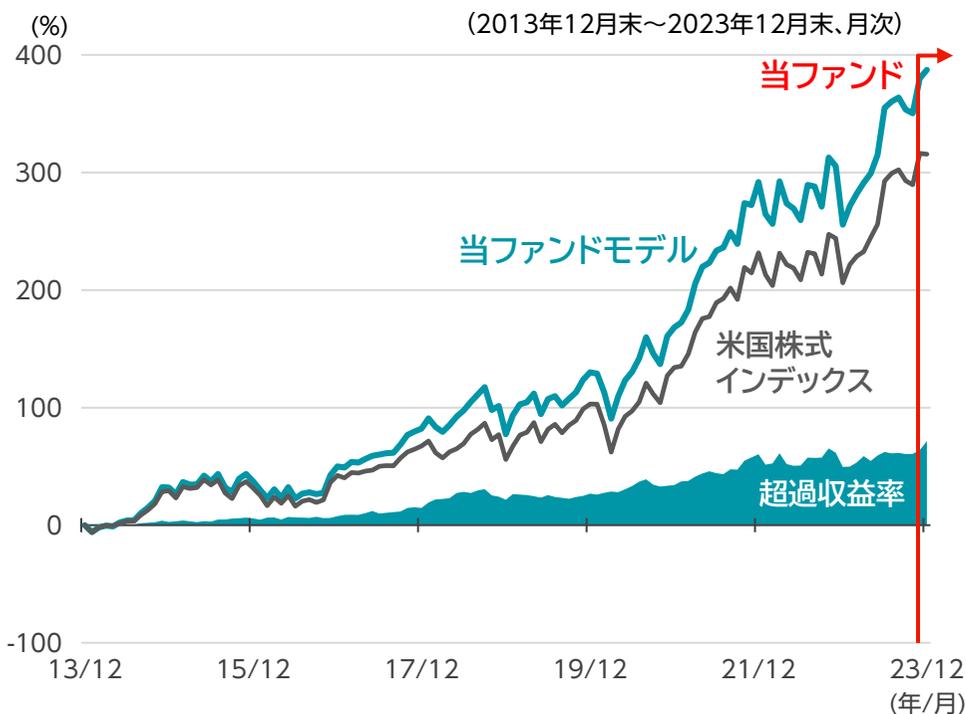


○ 当シリーズは運用力を活かして、ベンチマークとするインデックス(指数)を上回ることを目指します。

※インデックスを必ず上回ることを保証するものではありません(下回ることもあります)。

SMT iPlus 米国株式《愛称:つみたてインデックスプラス・アメリカ》

当ファンドと米国株式インデックスの累積リターンの推移



ベンチマーク

MSCI USAインデックス(配当込み、円換算ベース)

| | 当ファンド | 米国株式 インデックス | 超過収益率 (+ α) |
|--------|--------|----------------|------------------------|
| 累積リターン | 387.3% | 315.7% | 71.6% |
| 年率リターン | 17.2% | 15.3% | 1.8% |

※上記期間の2013年12月末～2023年11月末は当ファンドモデル(SMT iPlus 米国株式と同様の運用プロセスに基づき算出したシミュレーション(信託報酬(基本報酬+実績報酬)控除後)、2023年12月末は当ファンド実績値。超過収益率は、上記期間の累積リターンから米国株式インデックスの累積リターンを差し引いたもの。年率リターンは上記算出期間における当ファンドモデルおよび当ファンド実績値、米国株式インデックスの月次騰落率を基に年率換算しています。

※米国株式インデックスは、MSCI USAインデックス(配当込み)、米ドルベースのデータを当該日の為替データを基に三井住友トラスト・アセットマネジメントが円換算。(出所)Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

※上記の当ファンドモデルは所定の前提条件を基に行ったシミュレーションであり当ファンドの運用実績ではありません。また過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

2 インデックス+ α の リターン

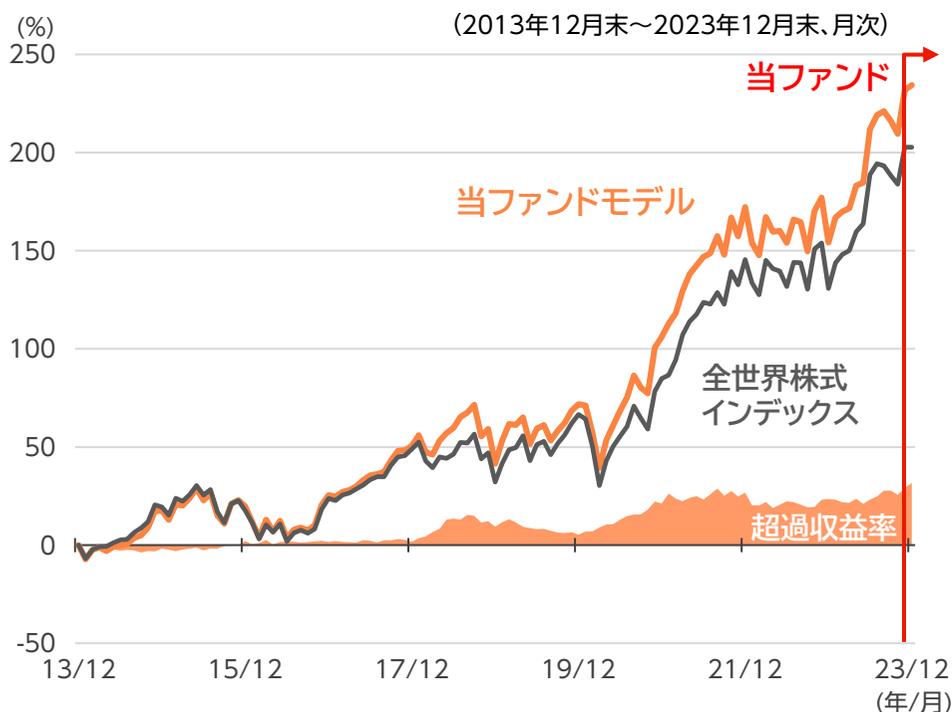


○ 当シリーズは運用力を活かして、ベンチマークとするインデックス(指数)を上回ることを目指します。

※インデックスを必ず上回ることを保証するものではありません(下回ることもあります)。

SMT iPlus 全世界株式《愛称:つみたてインデックスプラス・オール・カントリー》

当ファンドと全世界株式インデックスの累積リターンの推移



ベンチマーク

MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス
(配当込み、円換算ベース)

| | 当ファンド | 全世界株式 インデックス | 超過収益率 (+ α) |
|--------|--------|-----------------|------------------------|
| 累積リターン | 234.3% | 202.7% | 31.6% |
| 年率リターン | 12.8% | 11.7% | 1.1% |

※上記期間の2013年12月末～2023年11月末は当ファンドモデル(SMT iPlus 全世界株式と同様の運用プロセスに基づき算出したシミュレーション(信託報酬(基本報酬+実績報酬)控除後)、2023年12月末は当ファンド実績値。超過収益率は、上記期間の累積リターンから全世界株式インデックスの累積リターンを差し引いたもの。年率リターンは上記算出期間における当ファンドモデルおよび当ファンド実績値、全世界株式インデックスの月次騰落率を基に年率換算しています。

※全世界株式インデックスは、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み)、米ドルベースのデータを当該日の為替データを基に三井住友トラスト・アセットマネジメントが円換算。(出所)Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

※上記の当ファンドモデルは所定の前提条件を基に行ったシミュレーションであり当ファンドの運用実績ではありません。また過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

2 インデックス+ α の リターン



当シリーズの 運用方法

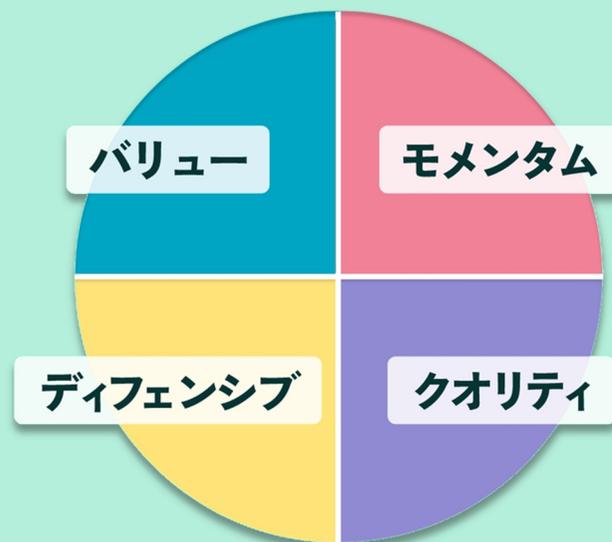
- ベンチマークの採用国上場銘柄の株式に投資し、ベンチマークを上回ることを目指します。
- 特徴の異なる4つの戦略を活用し、あらゆる市場局面を各戦略がカバーし合うことで、安定的に超過収益の獲得を目指します。
- 各戦略では、「伝統的指標*1」と「オルタナティブデータ*2」を組み合わせることで銘柄を選別します。

運用プロセス



※上記プロセスは、今後変更となる場合があります。

活用する4戦略



※各戦略については投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

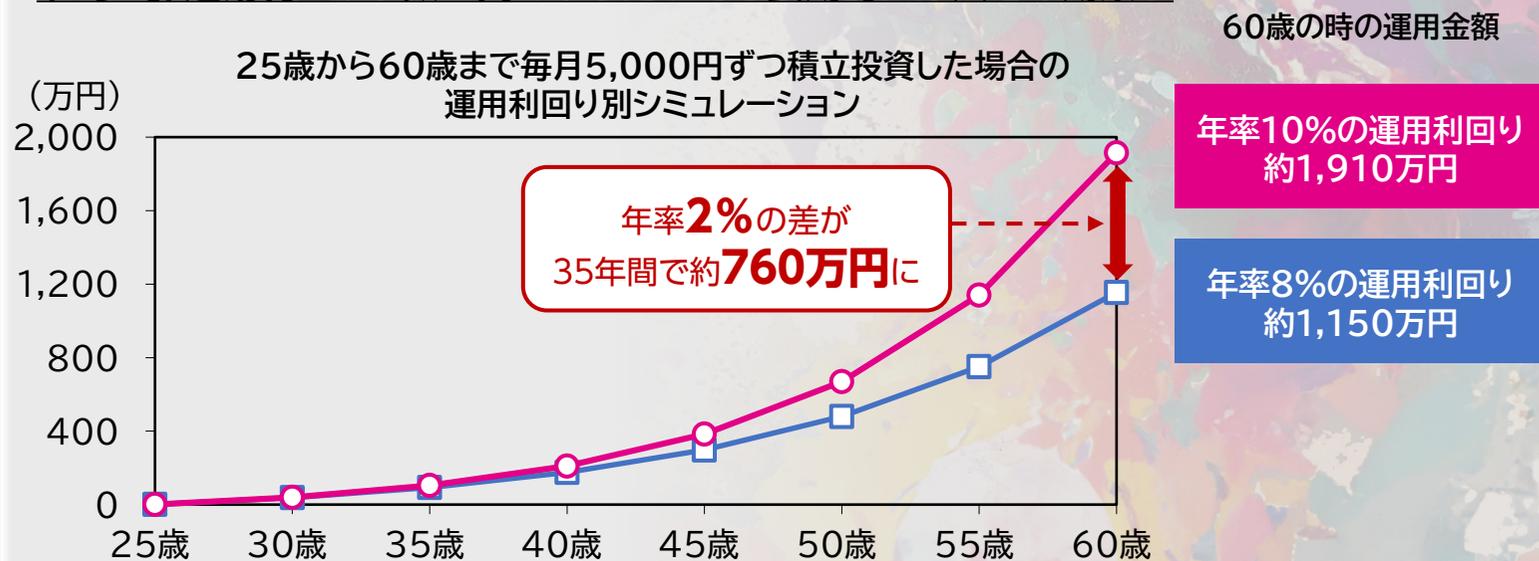
*1 伝統的指標とは、従来から投資に使用されてきたもので、株価の割安さを測る指標や過去一定期間の株価の上昇率を測る指標などがあります。

*2 オルタナティブデータとは、新たに投資に使用出来るようになったもので、ニュース、衛星画像、口コミなどがあります。

SMT iPlus シリーズの **i** は インデックスの **i**

インデックスと対比して
「中長期」で
リターンを「上回る」ことが目標

(ご参考)運用利回りが数%高くなるだけでも長期的には大きな効果が



※上記は所定の前提条件を基に行ったシミュレーションであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、購入時における手数料、税金等の諸費用は含まれておりません。

3 実績報酬型



- 当シリーズは、低水準の基本報酬ながら、インデックス+ α のリターンが期待できる設計となっています。それを支えるのは、四半期ごとのパフォーマンスに応じて実績報酬を頂く仕組みにあります。
- ベンチマークとするインデックスに対して+ α のリターンがあったときには、実績報酬を頂きますが、+ α のリターンがないときには頂きません。

※当シリーズのリターンがマイナスであった場合でも、ベンチマークとするインデックスに対して+ α のリターンがあったときは、実績報酬を頂きます。

実績報酬の有無の判断基準

1 前四半期の
ファンドの騰落率(年率換算)が
ベンチマークの騰落率(年率換算)を
上回っていること



2 設定来*の
ファンドの騰落率(年率換算)が
ベンチマークの騰落率(年率換算)を
上回っていること

* 設定日から各計算対象期間末日(3月、6月、9月12月の最終営業日)までです。

| 当シリーズがベンチマークを上回っている場合=○、下回っている場合=× | | | | |
|------------------------------------|---|---|---|---|
| 前四半期の騰落率(年率換算) | ○ | × | × | ○ |
| 設定来の騰落率(年率換算) | × | ○ | × | ○ |
| 実績報酬の有無 | 無 | 無 | 無 | 有 |

※実績報酬の有無の判断基準の1かつ2の条件を満たす場合には、計算対象期間末の基準価額が、前計算対象期間末または設定時の基準価額を下回っている場合でも実績報酬をご負担頂きます。

※実績報酬率の最大は1.1%(税込)とします。

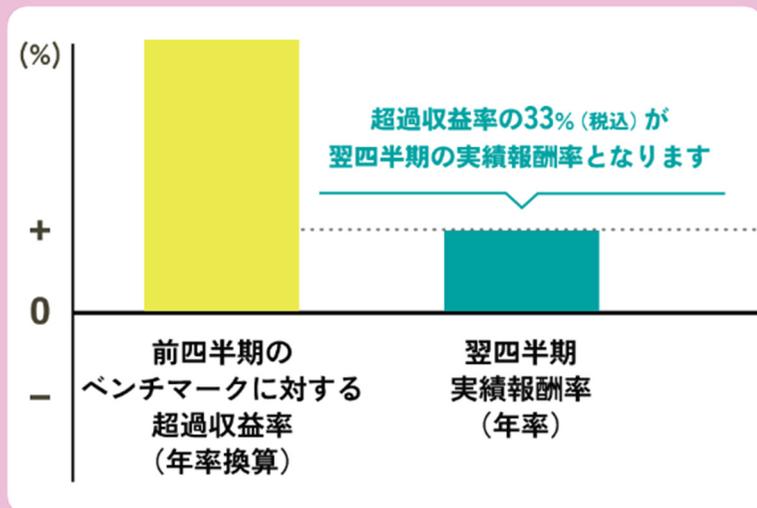
●最終ページのご留意事項を必ずご確認ください。

3 実績報酬型

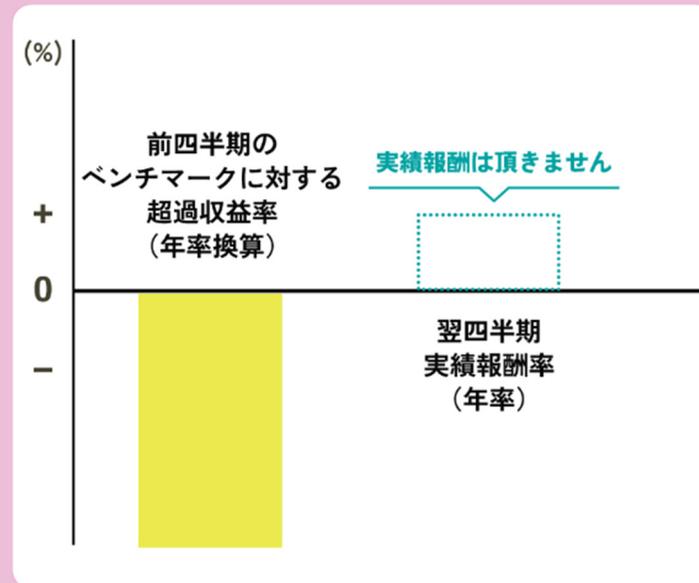


実績報酬のイメージ

●前四半期のリターンがベンチマークを上回っている場合



●前四半期のリターンがベンチマークを下回っている場合



実績報酬率の計算方法



前四半期のベンチマークに対する超過収益率の33%を翌四半期の実績報酬率とします

※実績報酬率の最大は1.1%(税込)とします。

※前四半期のベンチマークに対する超過収益率がプラスの場合でも、設定来の累積超過収益率がマイナスの場合は、実績報酬は頂きません。

※実績報酬の有無にかかわらず、基本報酬はファンドの保有期間中は常にご負担頂きます。

※上記は実績報酬のイメージ図であり、実績報酬の全てのケースを表したものではありません。

●最終ページのご留意事項を必ずご確認ください。

ご参考

積立投資の効果

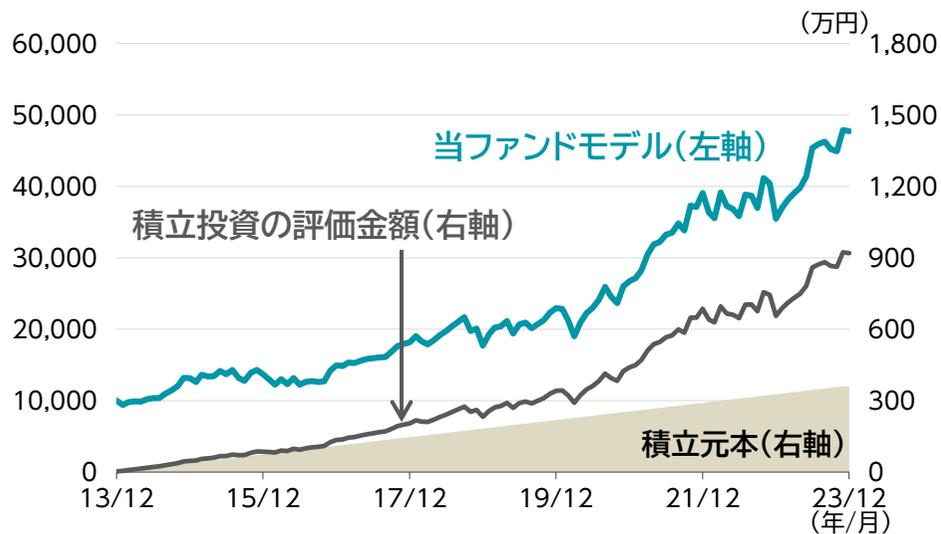
- 投資手法のひとつに、1回に全額を購入するのではなく、定期・定額で継続して購入するなど時間(タイミング)を分散しながら、資産を育てていく「積立投資」があります。
- 積立投資は、投資タイミングに悩むことなく購入単価を平準化させる効果も期待できるため、効率よく資産形成ができる魅力があります。

積立投資シミュレーション

10年間、当ファンドモデルに毎月3万円ずつ、
合計で360万円投資

SMT iPlus 米国株式

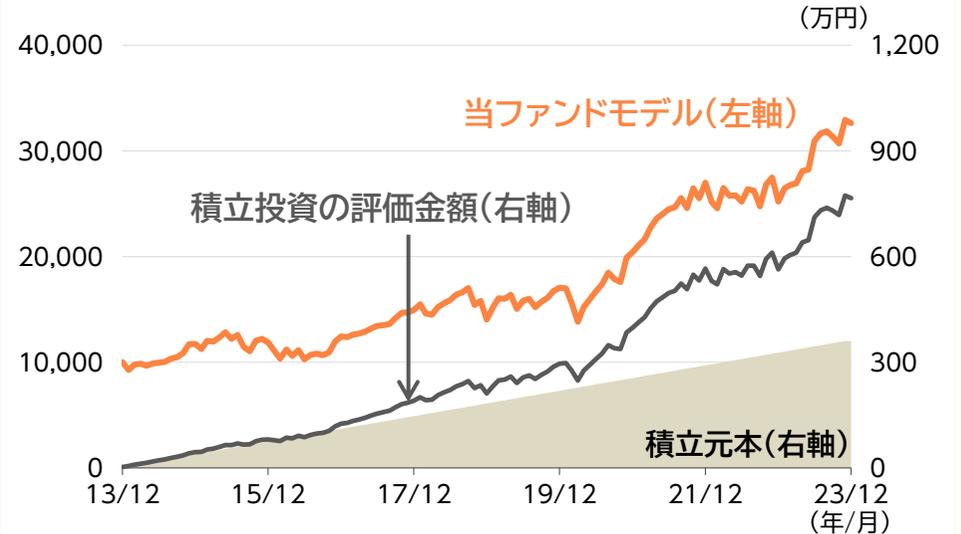
(2013年12月末～2023年12月末、月次)



積立投資の評価金額 919万円(+559万円)

SMT iPlus 全世界株式

(2013年12月末～2023年12月末、月次)



積立投資の評価金額 766万円(+406万円)

※当ファンドモデルは、それぞれSMT iPlus 米国株式およびSMT iPlus 全世界株式と同様の運用プロセスに基づき算出したシミュレーションのデータ(信託報酬(基本報酬+実績報酬)控除後)です。

※当ファンドモデルは、起点を10,000として指数化。

※積立投資の評価金額は、10,000円未満を切り捨てて算出しています。

(出所)Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

※上記は所定の前提条件を基に行ったシミュレーションであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、購入時における手数料、税金等の諸費用は考慮していません。

●最終ページのご留意事項を必ずご確認ください。

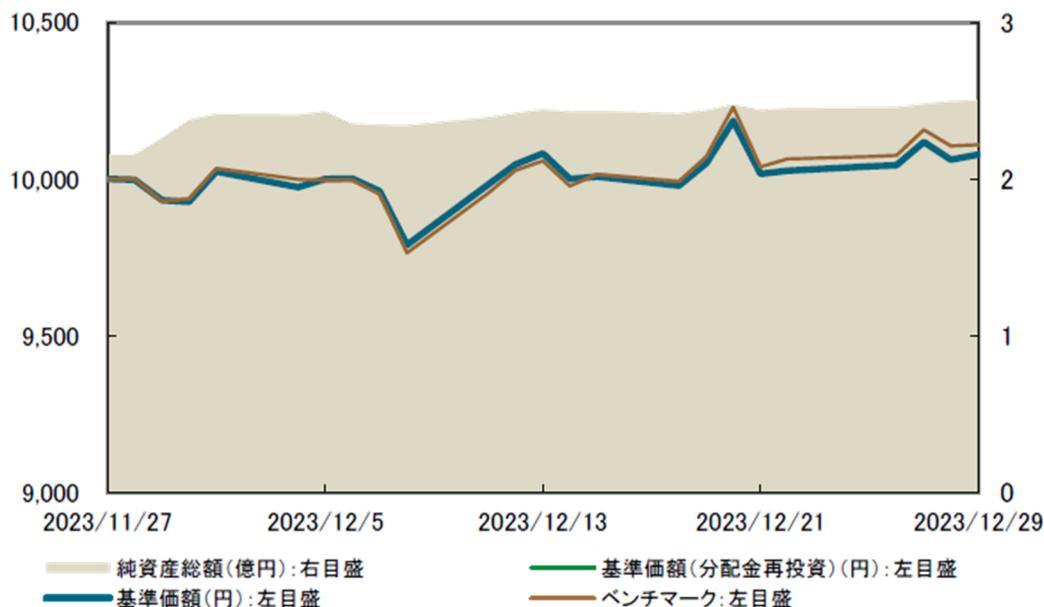
ファンドの運用状況①

SMT iPlus 米国株式《愛称:つみたてインデックスプラス・アメリカ》



当初設定日:2023年11月27日、作成基準日:2023年12月29日

基準価額の推移



- ※ データは、当初設定日から作成基準日までを表示しています。
- ※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ※ 基準価額は、信託報酬控除後です。
- ※ ベンチマークは、MSCI USAインデックス(配当込み、円換算ベース)です。当初設定日を10,000として指数化しています。

基準価額、純資産総額

| | 当月末 | 前月末比 |
|-------|----------|-----------|
| 基準価額 | 10,078 円 | + 150 円 |
| 純資産総額 | 2.51 億円 | + 0.13 億円 |

期間別騰落率

| | ファンド | ベンチマーク | 差 |
|-----|-------|--------|--------|
| 1ヵ月 | 1.51% | 1.73% | -0.22% |
| 3ヵ月 | - | - | - |
| 6ヵ月 | - | - | - |
| 1年 | - | - | - |
| 3年 | - | - | - |
| 設定来 | 0.78% | 1.09% | -0.31% |

- ※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

MSCI USAインデックスとは、MSCI Inc.が開発した米国の株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。

「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した指数です。

「円換算ベース」は、米ドルベース指数をもとに、当社が独自に円換算した指数です。

MSCI USAインデックスに関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.はMSCI USAインデックスの内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

※上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

●最終ページのご留意事項を必ずご確認ください。

ファンドの運用状況①

SMT iPlus 米国株式《愛称:つみたてインデックスプラス・アメリカ》



アクティブウェイト上位・下位銘柄

当初設定日:2023年11月27日、作成基準日:2023年12月29日

| 上位10銘柄 | | | | |
|--------|------------------------------|----------------|-----------|------------|
| | 銘柄名 | 業種 | アクティブウェイト | ベンチマークウェイト |
| 1 | ALPHABET INC-CL A | コミュニケーション・サービス | 2.86% | 1.97% |
| 2 | BOOKING HOLDINGS INC | 一般消費財・サービス | 1.81% | 0.30% |
| 3 | DR HORTON INC | 一般消費財・サービス | 1.70% | 0.11% |
| 4 | ADOBE INC | 情報技術 | 1.69% | 0.64% |
| 5 | BOOZ ALLEN HAMILTON HOLDINGS | 資本財・サービス | 1.55% | 0.04% |
| 6 | CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A | 情報技術 | 1.46% | 0.14% |
| 7 | WR BERKLEY CORP | 金融 | 1.43% | 0.03% |
| 8 | UNITEDHEALTH GROUP INC | ヘルスケア | 1.41% | 1.15% |
| 9 | CAPITAL ONE FINANCIAL CORP | 金融 | 1.37% | 0.12% |
| 10 | NVIDIA CORP | 情報技術 | 1.37% | 2.90% |

| 下位10銘柄 | | | | |
|--------|----------------------------|----------------|-----------|------------|
| | 銘柄名 | 業種 | アクティブウェイト | ベンチマークウェイト |
| 1 | ALPHABET C | コミュニケーション・サービス | -1.75% | 1.75% |
| 2 | TESLA | 一般消費財・サービス | -1.71% | 1.71% |
| 3 | META PLATFORMS INC-CLASS A | コミュニケーション・サービス | -1.18% | 1.89% |
| 4 | BROADCOM | 情報技術 | -1.18% | 1.18% |
| 5 | BERKSHIRE HATHAWAY B | 金融 | -1.11% | 1.11% |
| 6 | AMAZON.COM | 一般消費財・サービス | -1.09% | 3.37% |
| 7 | JOHNSON & JOHNSON | ヘルスケア | -0.89% | 0.89% |
| 8 | MASTERCARD A | 金融 | -0.85% | 0.85% |
| 9 | HOME DEPOT | 一般消費財・サービス | -0.82% | 0.82% |
| 10 | COSTCO WHOLESALE CORP | 生活必需品 | -0.70% | 0.70% |

※アクティブウェイトは、ファンドにおけるETFを除く現物株式ポートフォリオのウェイトとベンチマークウェイトの差異です。数値はマザーファンドベースです。株式には投資信託等を含みます。
※上記は特定の有価証券への投資を推奨しているものではありません。また、今後当ファンドが当該有価証券に投資することを保証するものではありません。過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

●最終ページのご留意事項を必ずご確認ください。

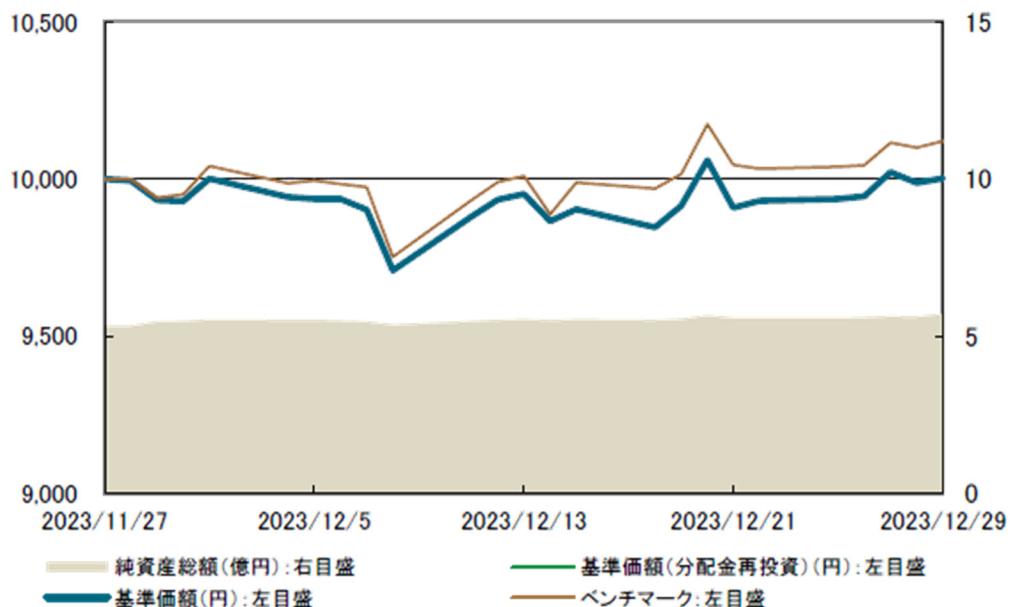
ファンドの運用状況②

SMT iPlus 全世界株式《愛称:つみたてインデックスプラス・オール・カントリー》



当初設定日:2023年11月27日、作成基準日:2023年12月29日

基準価額の推移



- ※ データは、当初設定日から作成基準日までを表示しています。
- ※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ※ 基準価額は、信託報酬控除後です。
- ※ ベンチマークは、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)です。当初設定日を10,000として指数化しています。

基準価額、純資産総額

| | 当月末 | 前月末比 |
|-------|----------|-----------|
| 基準価額 | 10,002 円 | + 73 円 |
| 純資産総額 | 5.71 億円 | + 0.24 億円 |

期間別騰落率

| | ファンド | ベンチマーク | 差 |
|-----|-------|--------|--------|
| 1か月 | 0.74% | 1.70% | -0.97% |
| 3か月 | - | - | - |
| 6か月 | - | - | - |
| 1年 | - | - | - |
| 3年 | - | - | - |
| 設定来 | 0.02% | 1.21% | -1.19% |

※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した日本を含む世界の先進国・新興国の株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した指数です。「円換算ベース」は、米ドルベース指数をもとに、当社が独自に円換算した指数です。MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックスに関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.はMSCI オール・カントリー・ワールド・インデックスの内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

※上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

●最終ページのご留意事項を必ずご確認ください。

ファンドの運用状況②

SMT iPlus 全世界株式《愛称:つみたてインデックスプラス・オール・カントリー》



当初設定日:2023年11月27日、作成基準日:2023年12月29日

アクティブウェイト上位・下位銘柄

| 上位10銘柄 | | | | | |
|--------|------------------------|-------|----------------|-----------|------------|
| | 銘柄名 | 国・地域 | 業種 | アクティブウェイト | ベンチマークウェイト |
| 1 | ALPHABET INC-CL A | 米国 | コミュニケーション・サービス | 2.36% | 1.23% |
| 2 | BOOKING HOLDINGS INC | 米国 | 一般消費財・サービス | 1.77% | 0.19% |
| 3 | NVIDIA CORP | 米国 | 情報技術 | 1.64% | 1.81% |
| 4 | MICROSOFT CORP | 米国 | 情報技術 | 1.59% | 3.93% |
| 5 | DR HORTON INC | 米国 | 一般消費財・サービス | 1.52% | 0.07% |
| 6 | UNITEDHEALTH GROUP INC | 米国 | ヘルスケア | 1.49% | 0.72% |
| 7 | 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 日本 | 金融 | 1.37% | 0.14% |
| 8 | NOVO NORDISK A/S-B | デンマーク | ヘルスケア | 1.28% | 0.50% |
| 9 | PROGRESSIVE CORP | 米国 | 金融 | 1.24% | 0.14% |
| 10 | PROCTER & GAMBLE CO | 米国 | 生活必需品 | 1.19% | 0.51% |

| 下位10銘柄 | | | | | |
|--------|----------------------------|------|----------------|-----------|------------|
| | 銘柄名 | 国・地域 | 業種 | アクティブウェイト | ベンチマークウェイト |
| 1 | ALPHABET C | 米国 | コミュニケーション・サービス | -1.09% | 1.09% |
| 2 | TESLA | 米国 | 一般消費財・サービス | -1.07% | 1.07% |
| 3 | AMAZON.COM | 米国 | 一般消費財・サービス | -1.00% | 2.11% |
| 4 | META PLATFORMS INC-CLASS A | 米国 | コミュニケーション・サービス | -0.76% | 1.18% |
| 5 | BROADCOM | 米国 | 情報技術 | -0.74% | 0.74% |
| 6 | TAIWAN SEMICONDUCTOR MFG | 台湾 | 情報技術 | -0.71% | 0.71% |
| 7 | BERKSHIRE HATHAWAY B | 米国 | 金融 | -0.69% | 0.69% |
| 8 | JOHNSON & JOHNSON | 米国 | ヘルスケア | -0.56% | 0.56% |
| 9 | MASTERCARD A | 米国 | 金融 | -0.53% | 0.53% |
| 10 | HOME DEPOT | 米国 | 一般消費財・サービス | -0.52% | 0.52% |

※アクティブウェイトは、ファンドにおけるETFを除く現物株式ポートフォリオのウェイトとベンチマークウェイトの差異です。数値はマザーファンドベースです。株式には投資信託等を含みます。
※上記は特定の有価証券への投資を推奨しているものではありません。また、今後当ファンドが当該有価証券に投資することを保証するものではありません。過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

●最終ページのご留意事項を必ずご確認ください。

当シリーズ
3つのポイント



低水準の基本報酬

**インデックス+ α の
リターン**



実績報酬型



SMT iPlus
US EQUITY



SMT iPlus
WORLD EQUITY

ファンドの投資リスク①

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆様に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。**

SMT iPlus
米国株式

SMT iPlus
全世界株式

| | | | |
|----------|---|---|---|
| 株価変動リスク | 株価は、発行者の業績、経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。株価が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。 | ○ | ○ |
| 為替変動リスク | 為替相場は、各国の経済状況、政治情勢等の様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。 | ○ | ○ |
| 信用リスク | 有価証券の発行体が財政難、経営不振、その他の理由により、利払い、償還金、借入金等をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなった場合、またはそれが予想される場合には、有価証券の価格は下落し、基準価額の下落要因となる可能性があります。 | ○ | ○ |
| カントリーリスク | 投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、またはそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。また、新興国への投資は先進国に比べ、上記のリスクが高まる可能性があります。 | | ○ |
| 流動性リスク | 時価総額が小さい、取引量が少ない等流動性が低い市場、あるいは取引規制等の理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落要因となる可能性があります。 | | ○ |

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

ファンドの投資リスク②

その他の留意点

- ・分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・ファンドは、大量の換金申込が発生し短期間で換金代金を手当てする必要性が生じた場合や組入資産の主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止、取り消しとなる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

お申込みメモ①

ご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

| ファンド名 | SMT iPlus 米国株式 <<愛称: つみたてインデックスプラス・アメリカ>> | | SMT iPlus 全世界株式 <<愛称: つみたてインデックスプラス・オール・カントリー>> | |
|--------|---|------------------------------------|--|--|
| 信託期間 | 無期限(2023年11月27日設定) | | | |
| 決算日 | 毎年9月8日(休業日の場合は翌営業日) ※第1期決算日は2024年9月9日 | | | |
| 収益分配 | 年1回、毎決算時に分配金額を決定します。 分配金額については、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配を行わないことがあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 | | | |
| 購入単位 | 販売会社が個別に定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 | | | |
| 購入価額 | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。 | | | |
| 換金単位 | 販売会社が個別に定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 | | | |
| 換金価額 | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。 | | | |
| 換金代金 | 原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。 | 原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。 | | |
| 申込締切時間 | 原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。 | | | |

お申込みメモ②・ ファンドの費用①

SMT iPlus 米国株式
 <愛称: つみたてインデックスプラス・アメリカ>

SMT iPlus 全世界株式
 <愛称: つみたてインデックスプラス・オール・カントリー>

ご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

| ファンド名 | SMT iPlus 米国株式 <愛称: つみたてインデックスプラス・アメリカ> | SMT iPlus 全世界株式 <愛称: つみたてインデックスプラス・オール・カントリー> |
|------------------|--|--|
| 購入・換金 申込受付不可日 | 申込日当日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申込みを受け付けられないものとします。(休業日については、委託会社または販売会社にお問い合わせください。) | |
| | ・ニューヨーク証券取引所の休業日・ニューヨークの銀行休業日 | ・ニューヨーク証券取引所の休業日・ニューヨークの銀行休業日 ・ロンドン証券取引所の休業日・ロンドンの銀行休業日 |
| 課税関係 | 課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、NISA(少額投資非課税制度)の適用対象であり、2024年1月1日以降は一定の要件を満たした場合にNISAの適用対象となります。ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象となる予定ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※上記は、2023年8月31日現在のものです。税法が改正された場合等には、変更される場合があります。 | |

ファンドの費用

▼お客様が直接的にご負担いただく費用

| | |
|---------|---|
| 購入時手数料 | 購入価額に販売会社が個別に定める手数料率を乗じて得た額とします。 <u>(上限3.3%(税抜3.0%))</u> |
| 信託財産留保額 | <u>ありません。</u> |

ファンドの費用②

▼お客様が間接的にご負担いただく費用

| | | |
|------------------|--|---|
| 運用管理費用 (信託報酬) | 以下の①および②を合計した額とします。 ①基本報酬 純資産総額に対して 年率0.055%(税抜0.05%) を乗じて得た額 信託報酬 = 運用期間中の基準価額 × 信託報酬率 | <運用管理費用の配分と主な役務> 委託会社 年率0.011%(税抜0.01%) ◇委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 販売会社 年率0.022%(税抜0.02%) ◇運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社 年率0.022%(税抜0.02%) ◇運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価 |
| | ②実績報酬 前四半期の期間(以下「計算対象期間」) ^{※1} における基準価額の騰落率(年率換算)が、同期間のベンチマークの騰落率(年率換算)よりも高い場合、その差の33.0%(税抜30.0%)に相当する率を実績報酬率 ^{※2※3} とし、計算対象期間の翌四半期に適用します ^{※4} 。 ただし、設定日から計算対象期間末日までの基準価額の騰落率(年率換算)が、同期間のベンチマークの騰落率(年率換算)よりも低い値である場合はいたしません。 ※1. 計算対象期間末日: 3月、6月、9月、12月の最終営業日です。 ※2. 実績報酬は、委託会社と販売会社に対し、7:3の割合で配分されます。 ※3. 上限を年率1.1%(税抜1.0%) とします。 ※4. 実績報酬率は、翌計算対象期間の開始月の月初6営業日目の翌日から翌々計算対象期間の開始月の月初6営業日目まで適用します。 ※5. 実績報酬率は設定日から2024年4月8日まではいたしません。 | |
| その他の費用・手数料 | 有価証券の売買・保管、信託事務に係る諸費用等をその都度、監査費用等を日々、ファンドが負担します。これらの費用は、運用状況等により変動するなどの理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。 ・有価証券の売買・保管に係る費用: 有価証券の売買・保管にあたり、売買仲介人・保管機関に支払う手数料 ・信託事務に係る諸費用: 投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息等 ・監査費用: 監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 | |

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。また、上場投資信託証券は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託証券の費用は表示していません。

委託会社およびファンドの関係法人

- 委託会社 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社 [ファンドの運用の指図]
ホームページアドレス <https://www.smtam.jp/>
フリーダイヤル 0120-668001 (受付時間: 営業日の午前9時~午後5時)

- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社 [ファンドの財産の保管および管理]

- 販売会社 株式会社SBI証券
[募集・販売の取扱い、目論見書・運用報告書の交付等]

【SBI証券からのご留意事項】

- 本セミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。SBI証券は、セミナー及び資料等の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、保証するものではありません。また、過去の実績や予想等は、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。商品ご購入の最終決定は、商品の内容、リスク及び費用等を十分ご理解いただきましたうえで、お客様ご自身の判断と責任で行っていただきますようお願いいたします。
- ご投資にあたっては、商品概要や目論見書(目論見書補完書面)をよくお読みください。
- SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

◆投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お申込みは

SBI証券

商号 株式会社SBI証券

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号、商品先物取引業者

加入協会 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

一般社団法人日本STO協会、日本商品先物取引協会

【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。
- ご契約の当事者は販売会社であり、三井住友トラスト・アセットマネジメントは契約の当事者とはなりません。